

耳よりな話

N.55

平成 27 年 7 月 23 日発行

(労働・社会保険ニュース)

阿部年金労務管理研究所

阿部 純二 (社会保険労務士)

〒194-0045 東京都町田市南成瀬 5-25-14

Tel 090-1200-1526 Fax 042-722-1526

E-mail: abenenkin@ybb.ne.jp

<http://nenkinsodan.web.fc2.com/>

◎遺族年金の男女差は「合憲」

「耳寄りな話」N. 46 (平成 26 年 1 月 21 日) において「**遺族年金に新判決**」として、地方公務員の遺族年金受給に関して、大阪地裁が違憲判決を出した内容を記載しました。

これに対し、基金側は控訴しておりましたが、平成 27 年 6 月 19 日、大阪高裁は地裁判決と異なり、合憲との判決を出しました。

裁判長は判決理由として「男性が支給申請した 22 年当時においても、女性の賃金は男性の 6 割以下に過ぎず、労働環境の男女差は歴然として存在し、規定は不合理な差別とはいえず、憲法 14 条に違反しない」と言うものです。

男性は上告する方針とのことです。

本件は地方公務員災害補償基金制度の事案ですが、現在の公的年金の遺族年金制度でも受給条件で男女差が設けられており、平成 27 年 10 月から厚生年金と各共済年金が統合されることもあり、今後、遺族厚生年金への影響もあるとして最高裁判決に関心が高まります。

【おことわり】

「耳寄りな話」にてお知らせする年金等の内容につきましては、平易な文言にてその骨子を説明することを心掛けております。従いまして、法令条文通りの厳密な解釈や例外規定の適用に拠っては該当しない人もいます。その旨をご理解頂きますよう、更に詳細が必要な方は別途お問い合わせください。

* 既発行の「耳寄りな話」は <http://nenkinsodan.web.fc2.com/> をご覧ください。

江戸あれこれ

徳川幕府の初期はどんな社会だったのでしょうか。

当時の日本の人口は 3,000 万人位と推計されています。武士を除くと殆どが農民でその他は商人、寺社、神社関係者でした。

主たる生産物は米であり、米中心の経済でした。

全国の米生産高は約 3,000 万石でその内徳川幕府が 700 万石、2,250 万石が約 260 の各大名の所領、残りが寺社所領でした。

徳川幕府の 700 万石の内、400 万石が幕府、300 万石は旗本、御家人の所領でした。いわゆる天領と呼ばれる幕府直轄領は関東地域、京都、大阪、出羽、越後、長崎など肥沃な所に多く存在しました。

幕府はその他、佐渡金山、銀山の鉱物、飛騨の木材を直轄としましたので、膨大な所領を保有し、もちろん全国一の大大名でした。

大名は

家門大名…徳川將軍家の血脈に繋がる。越前松平家、会津保科正之系の松平家、御三家からの分家など

譜代大名…関ヶ原合戦以前からの徳川家に取り立てられていた家来衆

外様大名…関ヶ原合戦前後から臣従した大名

に分けられ、譜代大名は小大名、外様大名は大大名が多くいました。

初期段階での 50 万石以上の外様大名には加賀藩前田 (120 万石)、山形藩最上 (57 万石)、仙台藩伊達 (60 万石)、会津藩蒲生 (60 万石)、広島藩福島 (50 万石)、福岡藩黒田 (52 万石)、熊本藩加藤 (54 万石)、薩摩藩島津 (61 万石) の 8 大大名がいました。

しかし、その後幕府政策により、広島藩福島、熊本藩加藤などが改易となり消滅します。

明治維新後の日本は中央集権国家となりましたが、江戸時代は各藩に行政させる地方自治体制でした。

各大名は各藩の行政を任されましたが、外国との交易や全国的な国家行政は江戸幕府が朝廷から委任された形式をとりました。五街道の整備、江戸城の修復、災害復興や治水対策など公共事業は幕府主導のもと、各藩に割り当てられました。

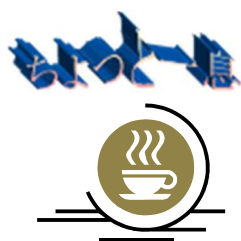
各藩に自治を認めましたが、武家諸法度を制定して大名の参勤交代制を通じ徳川家への臣従を強制しました。

一説に参勤交代制は各大名に、特に江戸から遠い大藩の外様大名にお金を使わせる目的のため制定されたとの説がありますが、真実は 2 年に 1 回の参勤交代によって徳川家への臣従を認識させることが目的でした。

結果的には参勤交代時の大名や家臣の随行により道中での消費経済は活性化しましたし、江戸や全国の情報が各地に拡がり、文化や技術の向上に大いに役立ちました。

しかし、幕府も地方自治は認めましたが、幕府老中直轄の大目付（おおめつけ）に各大名を監視させました。その他にも小人目付（こびとめつけ）を全国に放ち動静を探らせました。

小人目付の一人であった松尾芭蕉もそうした任務を帯びて各地を旅したのではないかとされています。



第一生命が毎年「サラリーマン川柳コンクール」を発表しています。

傑作をご披露します。

（本件は第一生命様から転載の承認を得ております）

赤字だぞ あんたが辞めれば すぐ黒字

はぐれ鳥

宝くじは はずれて辞表 また破り

毎日が酔曜日

親戚が 集まる時は 黒い服

覆水盆に里帰り

ローカローリー そんなだけ食べれば 同じだろ

楓

しかられて おねしよで返す 仇討ち

ゆいっち

第二十一回 第一生命サラリーマン川柳コンクールより